

# 平成29年12月期 決算説明会（連結）



## 清和中央ホールディングス



平成30年2月

# 市場環境について

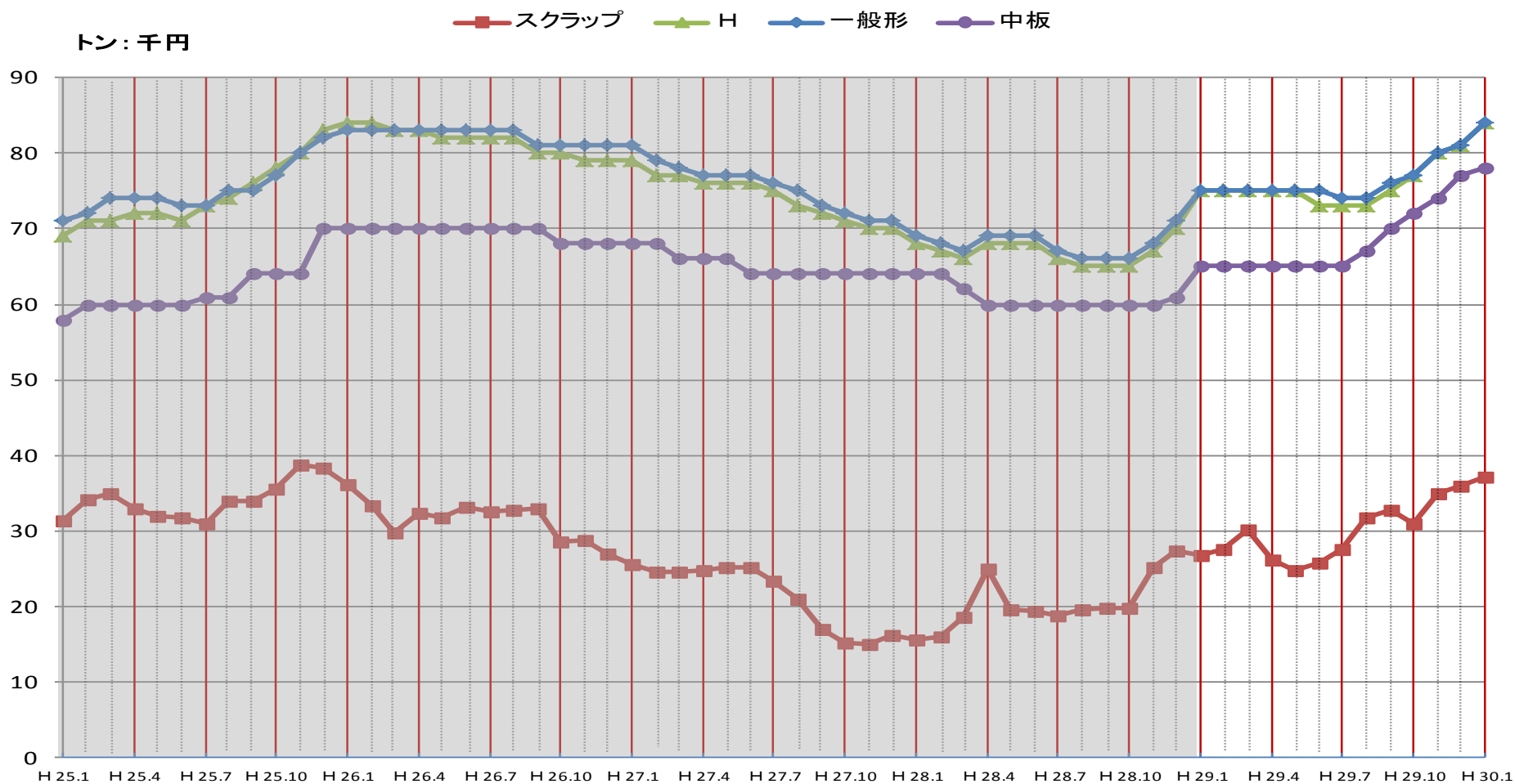
年間を通して、米国・欧州・中国をはじめ、世界的に景気が回復し、国内も輸出の増加や、底打ち改善傾向が見られる個人消費等に支えられ、大幅とは言えないが改善が進行した。

## 国内鉄鋼需要について

- |       |        |  |
|-------|--------|--|
| 建設    | ・ 土木   | 前年並み   |
|       | ・ 建築   | 住宅は頭打ち<br>非住宅はオリンピック関連の始動、再開発、物流倉庫<br>インバウンド需要のホテル等の建設需要ニーズは高い<br>が、施工能力問題もあり前年比小幅の増加となる |
| 製造業   | ・ 自動車  | 国内販売の回復や輸出増により大幅増加   |
|       | ・ 建設機械 | 輸出の大幅回復に支えられ大幅増加   |
|       | ・ 工作機械 | 〃  |
|       | ・ 産業機械 | 微増   |
|       | ・ 造船   | 微減   |
| 全体として | 微増     | 1.5%程度の見込み（日本鉄鋼連盟）   |

# 鋼材市況について

夏場は一時停滞したが、年初は下がり過ぎた資源価格の値戻し要因により、また秋口以降は中国の地条鋼生産の強制休止や環境対策に伴う一部生産抑制、世界的な需要増加等により需給が改善し、年間通すと大幅上昇となった。



# グループ収益について

工事売上が減少したが、中央鋼材の梁加工の収益が大幅に改善され、また鋼材販売価格の上昇に伴う販売スプレットの拡大効果により、増収、大幅増益の高水準な利益を達成。

# 個別業績① (単体)

	清和中央HD H29年12月期	主な項目
営業収益 百万円	581	・ 経営指導料収入・業務手数料収入 ・ 配当収入・不動産賃貸収入等
営業費用 百万円	346	
営業利益 百万円	234	
営業外収益 百万円	8	・ 受取利息等
営業外費用 百万円	6	・ 支払利息等
経常利益 百万円	236	
税前利益 百万円	236	
当期純利益 百万円	213	

## 個別業績②（子会社）

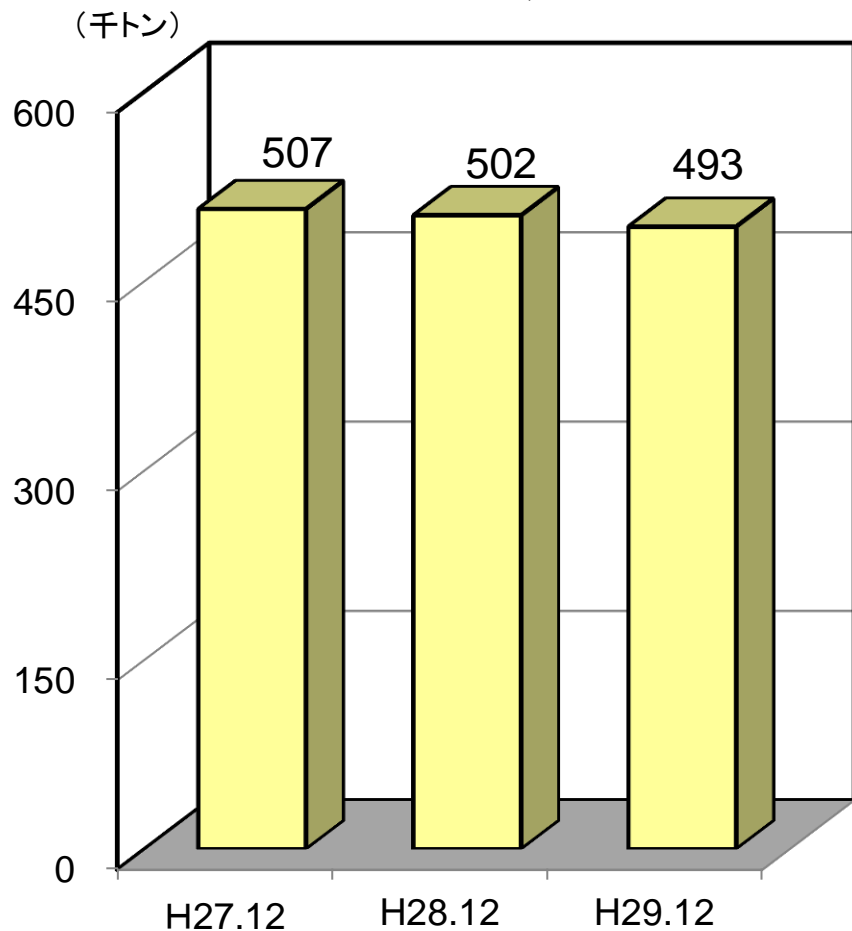
	清和鋼業 平成29年12月期	中央鋼材 平成29年12月期
売上数量 千トン	269	226
売上高 百万円	23,101	22,300
営業利益 百万円	575	711
経常利益 百万円	631	727
税前利益 百万円	631	727
当期純利益 百万円	425	476

# 経営成績推移（連結）

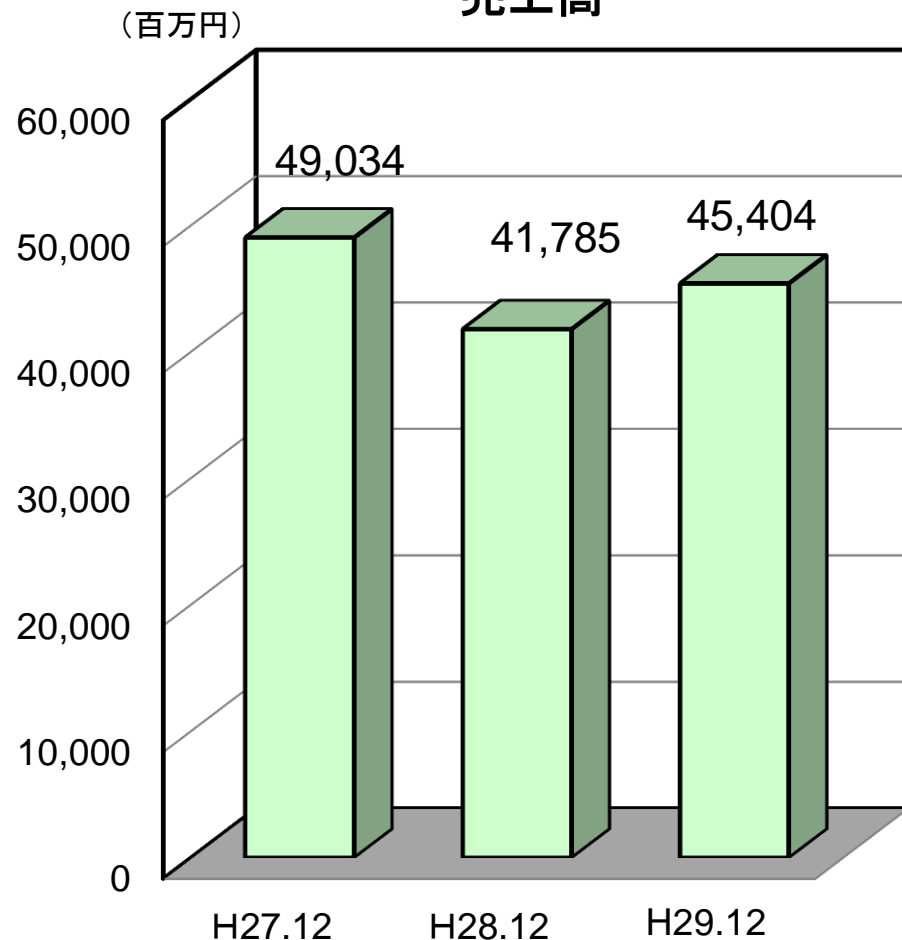
		平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
売上数量	千トン	507	502	493
売上高	百万円	49,034	41,785	45,404
営業利益	百万円	825	931	1,363
経常利益	百万円	899	1,015	1,431
税前利益	百万円	899	1,015	1,431
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	596	680	928

# 経営成績推移 (連結)

## 売上数量



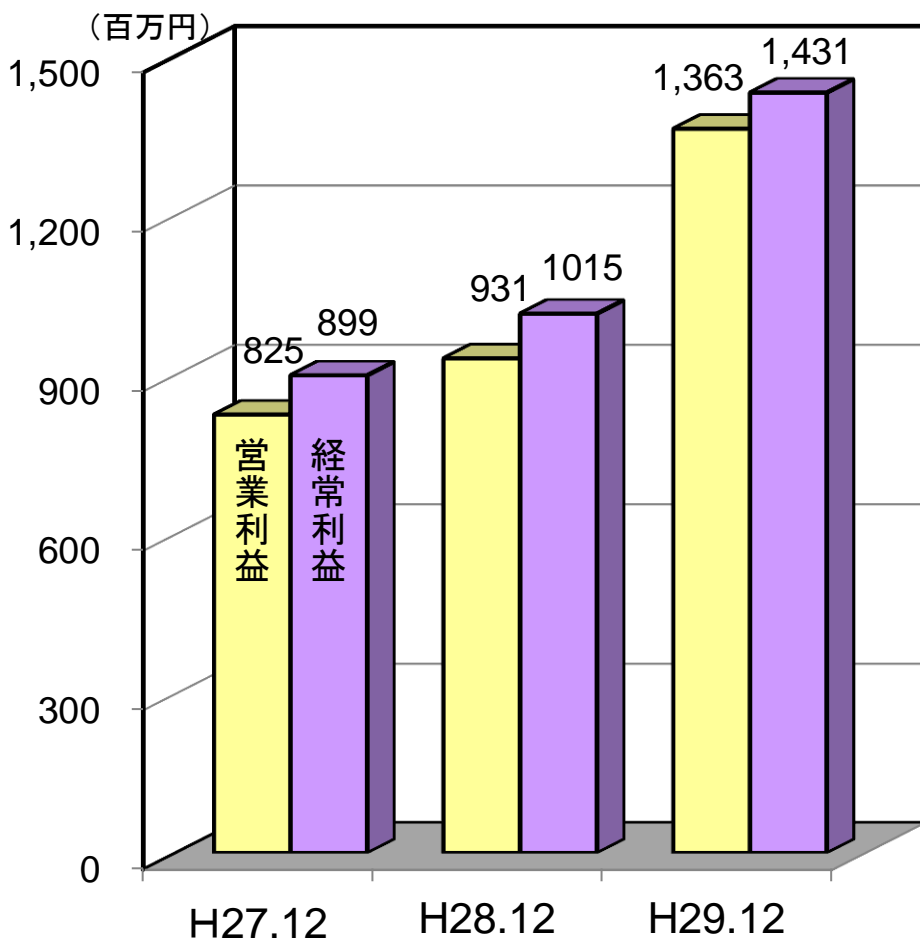
## 売上高



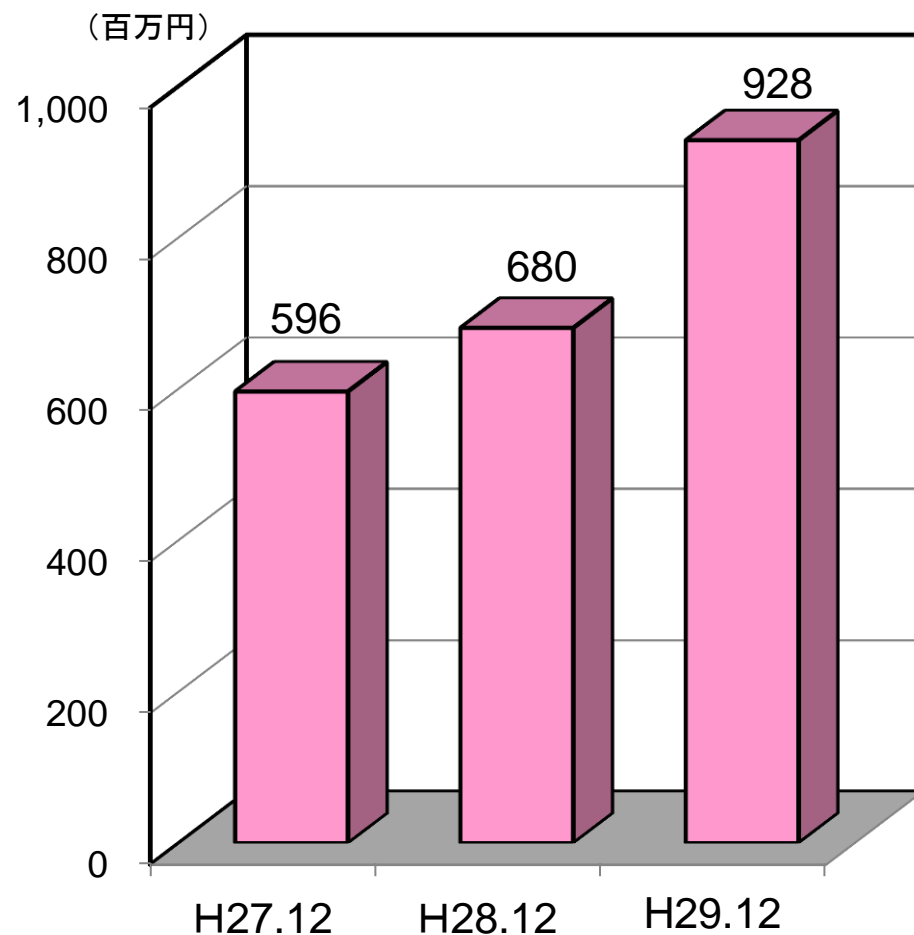


# 経営成績推移（連結）

## 営業利益及び経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益

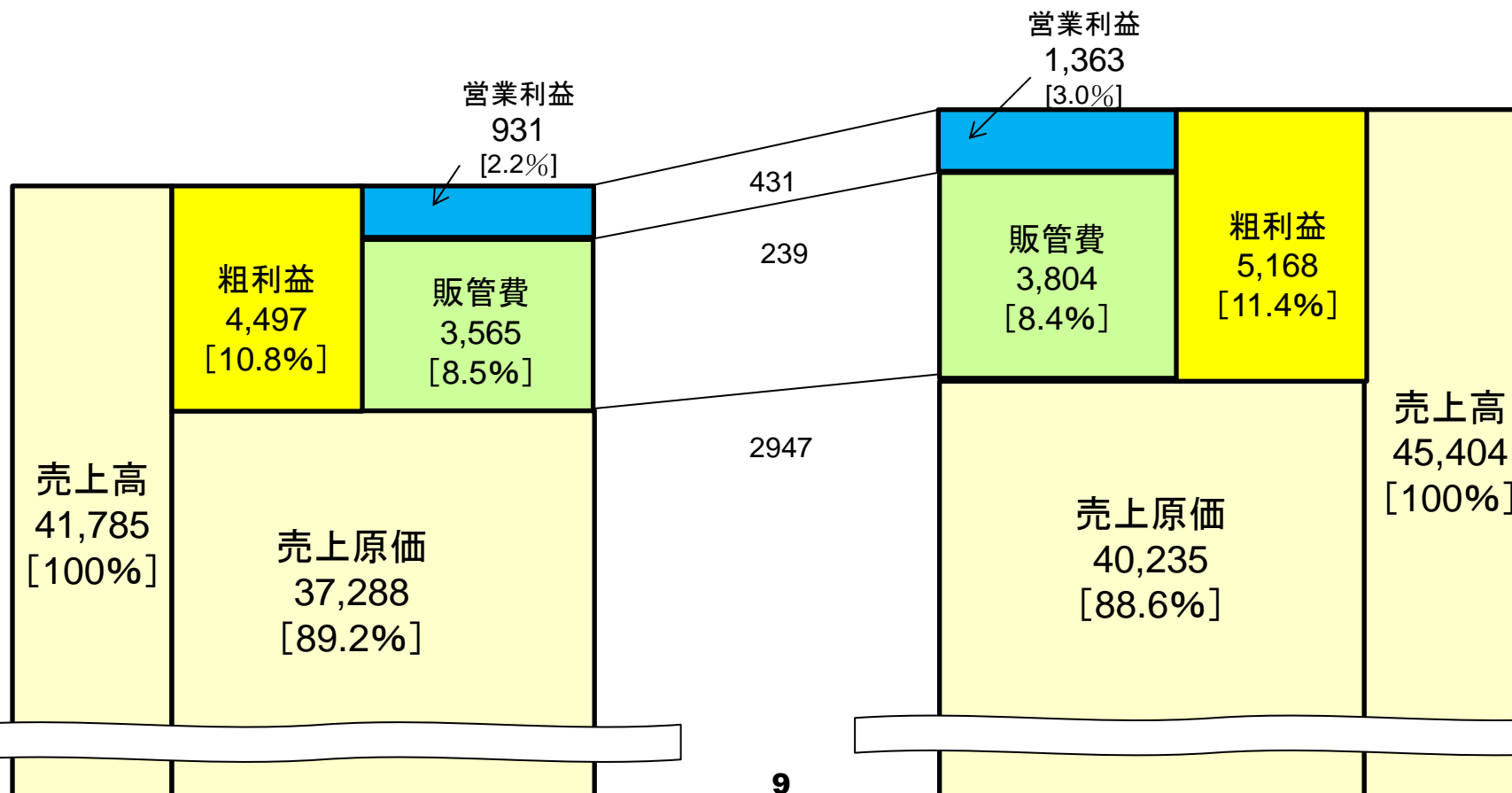


# 前年比増減分析 (連結)

単位:百万円  
[ ]:売上高構成比率

平成28年12月期

平成29年12月期

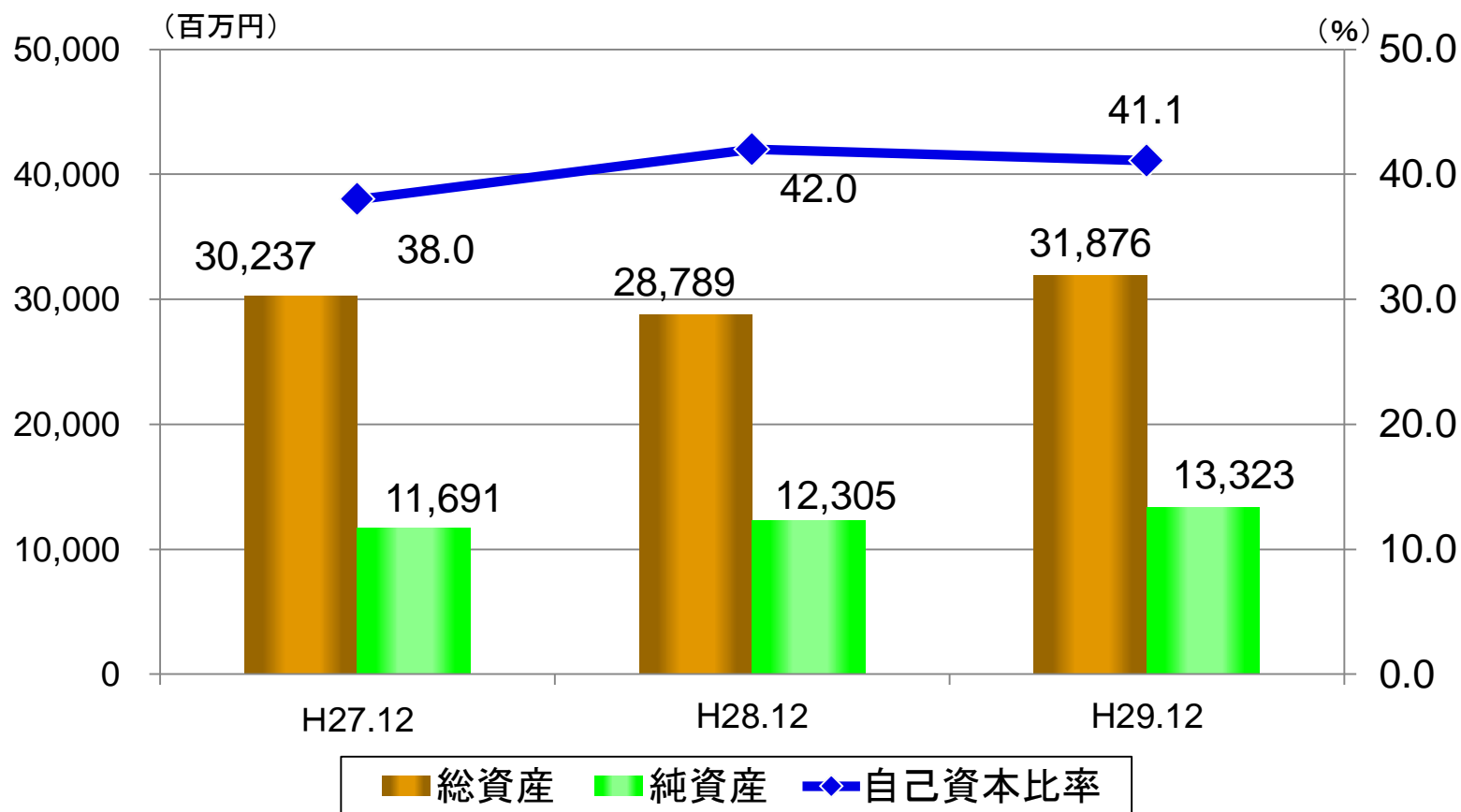


# 財政状態推移（連結）

	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
総資産 百万円	30,237	28,789	31,876
純資産 百万円	11,691	12,305	13,323
負債 百万円	18,545	16,483	18,553
自己資本比率 %	38.0	42.0	41.1

# 財政状態推移 (連結)

## 総資産・純資産・自己資本比率



# 1株当たり情報（連結）

	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
1株当たり純利益 <sup>円</sup>	152.37	173.79	237.09
1株当たり純資産 <sup>円</sup>	2,935.60	3,090.34	3,346.19

# 今期の見通しについて

## 国内鉄鋼需要について

- 建設
- ・土木 前年並み
  - ・建築 住宅は、前年比若干減  
非住宅は、オリンピック関連が本格化、その後も前年に続き、建設ニーズは高いが、施工能力問題があり、前年比は微増

製造業 好調な世界経済や国内景気に支えられ、各業種とも大幅増は難しいが、微増傾向は続く見込み

その結果、内需合計は前年比0.2%増程度の見通し（日本鉄鋼連盟）

## 鋼材価格について

前年は大幅上昇となったが、下落リスクは低く、資源価格再上昇の傾向が見られ、小幅の上昇または横這いを予想

## 収益について

梁加工は年間を通して、高水準の稼働が続き、収益も高水準を維持  
販売スプレットは前年水準が高すぎたこともあり本年は低下、年間減益を予想

## リスクについて

国内はあまりないが、海外での北朝鮮やトランプ政権、中近東問題等が考えられる

# 個別業績予想①（子会社）

	清和鋼業		中央鋼材	
	平成29年12月期 実績	平成30年12月期 業績予想	平成29年12月期 実績	平成30年12月期 業績予想
売上数量 千トン	269	280	226	230
売上高 百万円	23,101	25,532	22,300	24,107
営業利益 百万円	575	393	711	461
経常利益 百万円	631	452	727	480
税前利益 百万円	631	452	727	480
当期純利益 百万円	425	297	476	315



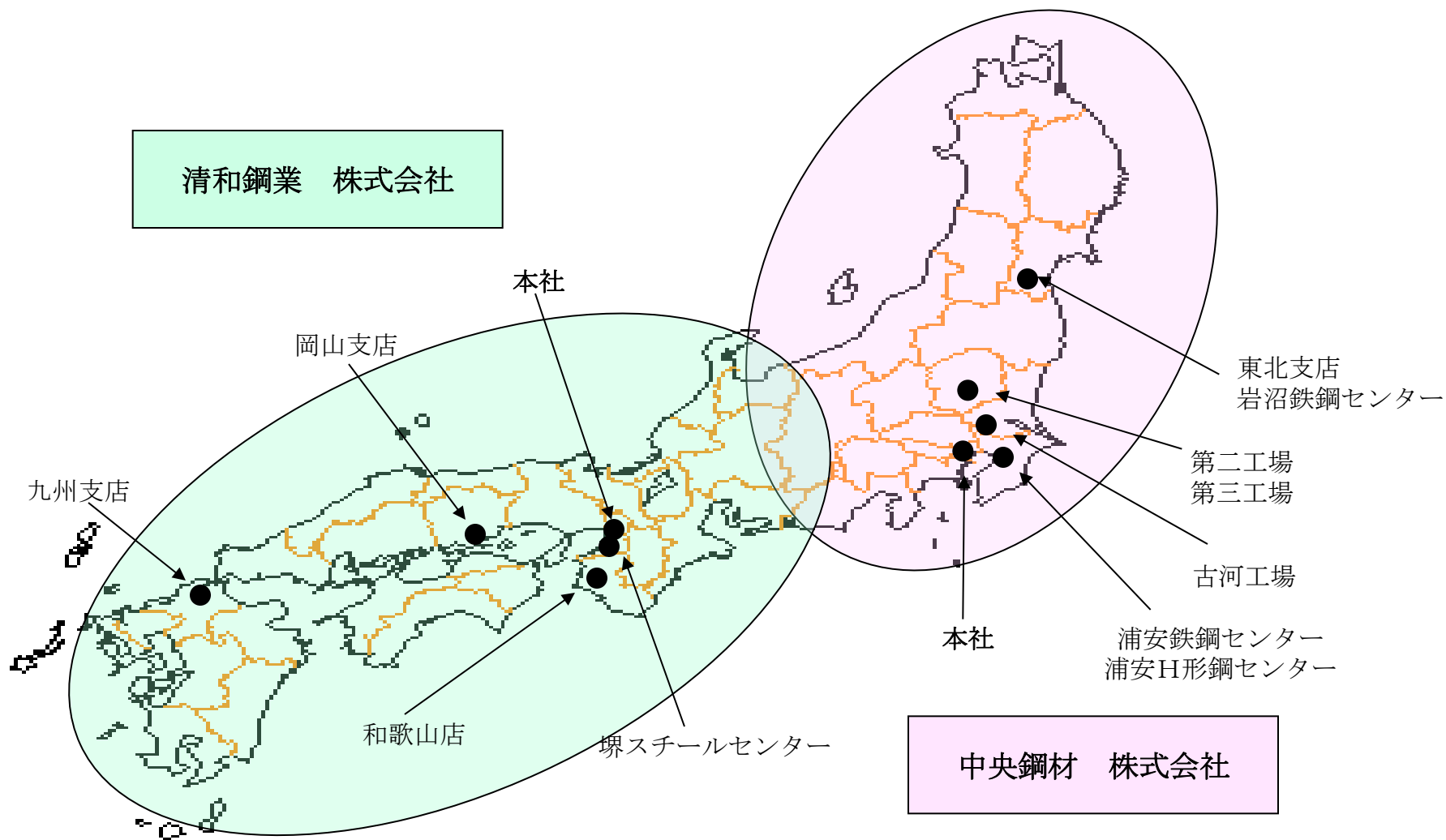
## 個別業績予想②（単体）

		清和中央HD	
		平成29年12月期 実績	平成30年12月期 業績予想
営業収益	百万円	581	683
営業費用	百万円	346	351
営業利益	百万円	234	332
経常利益	百万円	236	334
税前利益	百万円	236	334
当期純利益	百万円	213	305

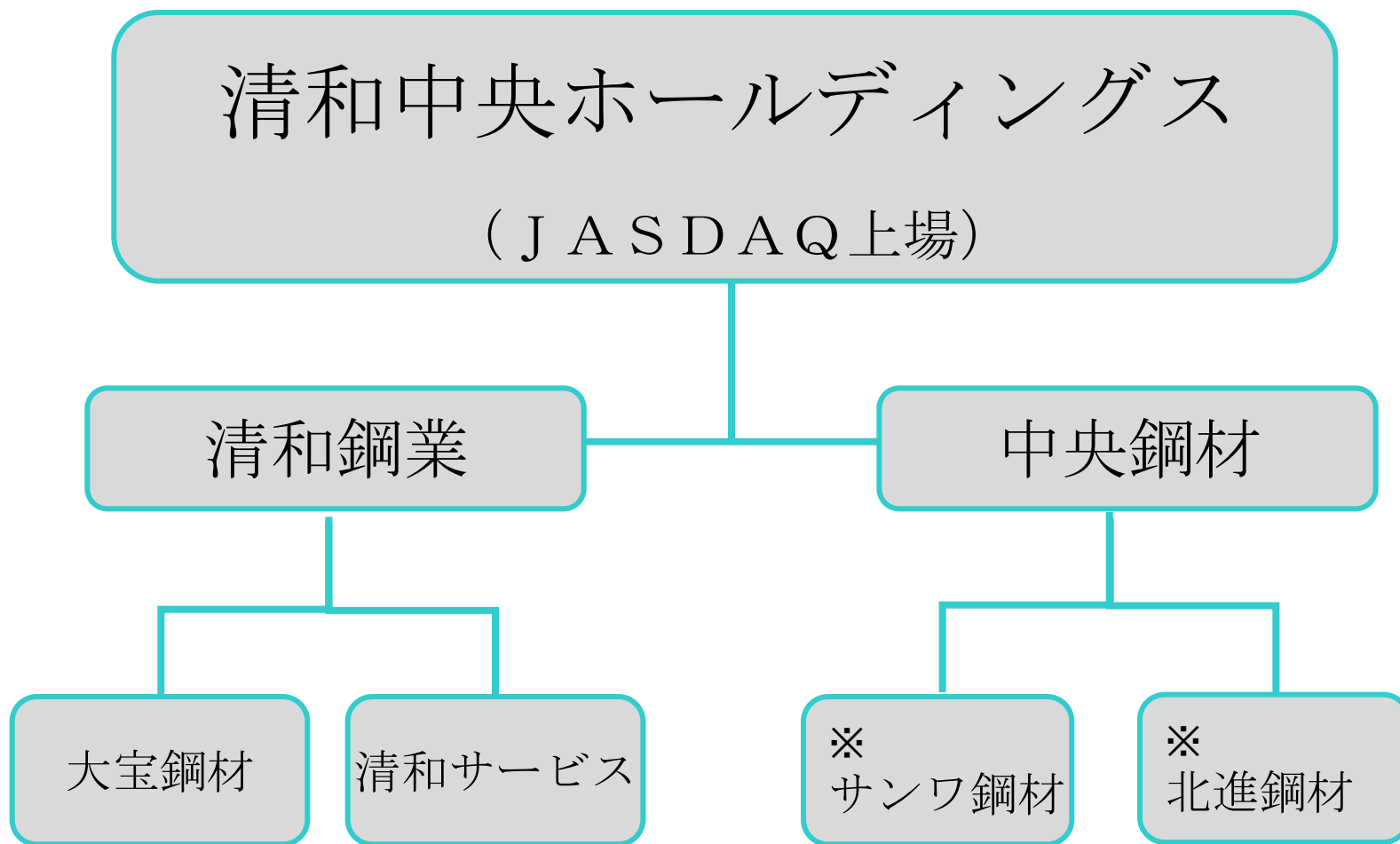
# 連結業績予想

	平成28年12月期 実績	平成29年12月期 実績	平成30年12月期 業績予想
売上数量 千トン	502	493	508
売上高 百万円	41,785	45,404	49,000
営業利益 百万円	931	1,363	940
経常利益 百万円	1,015	1,431	1,020
税前利益 百万円	1,015	1,431	1,020
親会社株主に帰属する 当期純利益 百万円	680	928	650

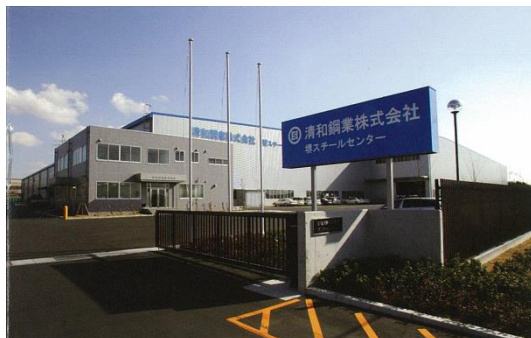
# 参考：グループ拠点



# 参考：グループ体制



※は非連結子会社



Holdings

# 清和中央ホールディングス



※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。